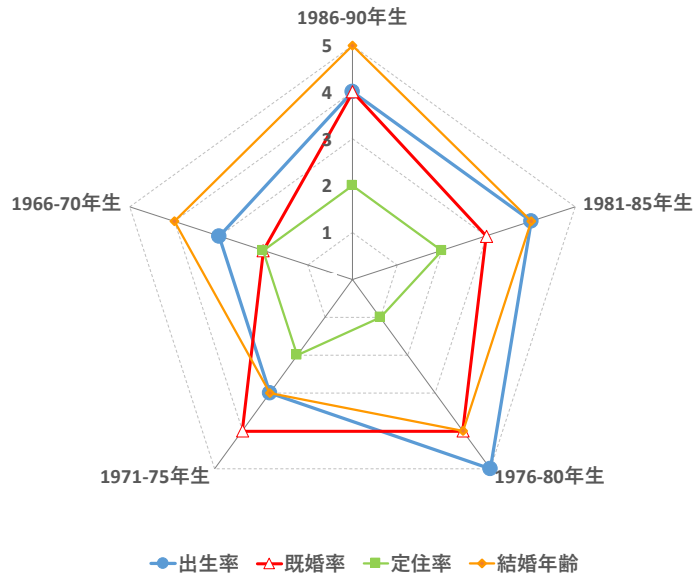


(12) 糸魚川市

①出生に関する総合評価

図12-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

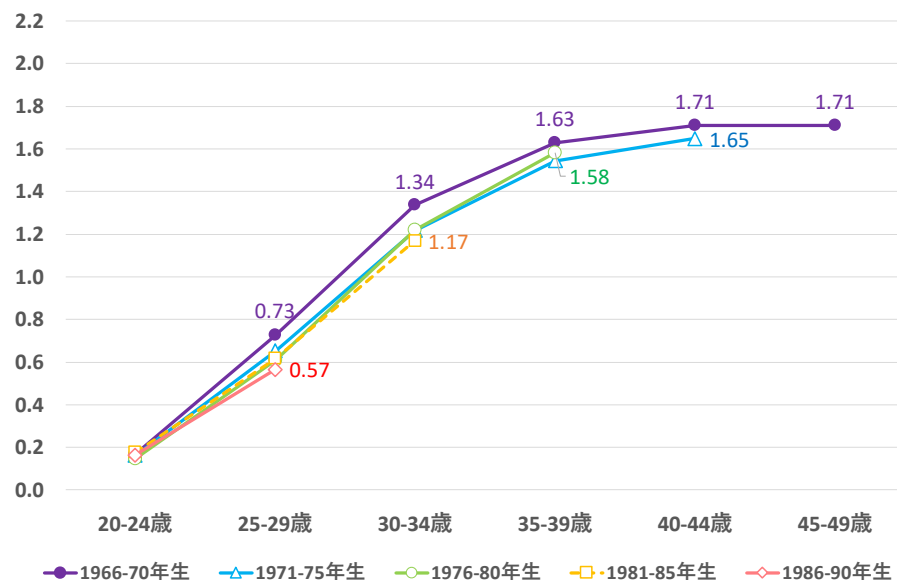
1. 合計出生率は、1966-70年生まれと1971-75年生まれは中位、1981-85年生まれと1986-90年生まれは上位、1976-80年生まれは最上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれは下位であるが、1981-85年生まれは中位、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは上位である。
3. 女性定住率は、1976-80年生まれは最下位であるが、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは下位である。
4. 女性結婚年齢は、1971-75年生まれは中位、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1981-85年生まれは上位、1986-90年生まれは最上位である。

【総合評価】

1. 糸魚川市では、女性定住率が全コホートで下位以下に属しているが、1960年代後半生まれの女性既婚率が下位であることを除いて、女性既婚率と結婚年齢はほとんどが上位にある。合計出生率は1970年代後半以降、上位と最上位に属している。
2. 合計出生率は、25-29歳や30-34歳時点の女性既婚率の低下がみられるものの、1970年代生まれ以降は大きく低下していない。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1980年代後半生まれでも1人程度を維持しているが、25-29歳での出生率は低下傾向にあり、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。
4. 25-29歳以降の女性定住率は全コホートで0-4歳時点の50%台であり、これが回復しなければ、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

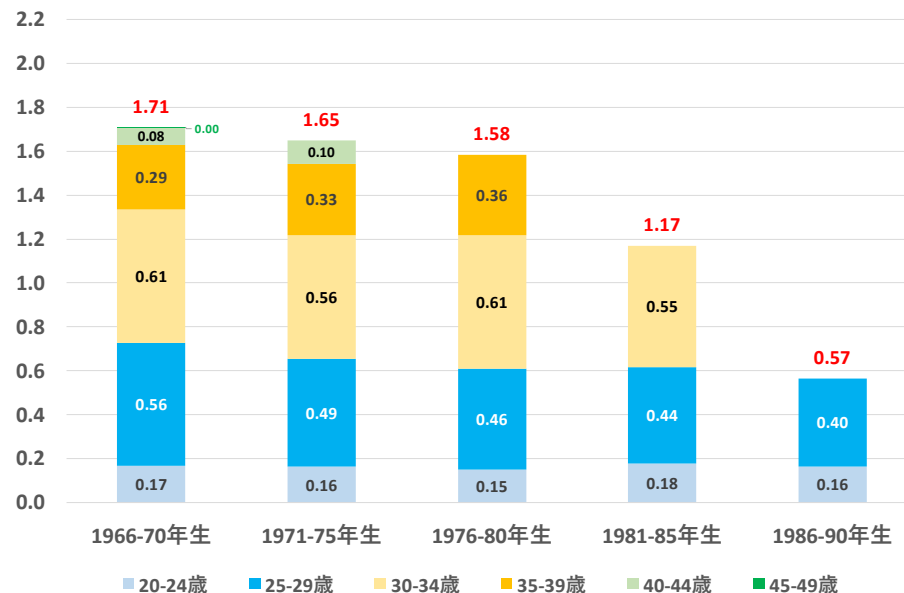
図 12-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 12-2 は、糸魚川市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の低下がみられる。
- ・ 1981-85 年生まれ以降のコホートではさらに 25-29 歳の合計出生率が低下している。

図 12-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

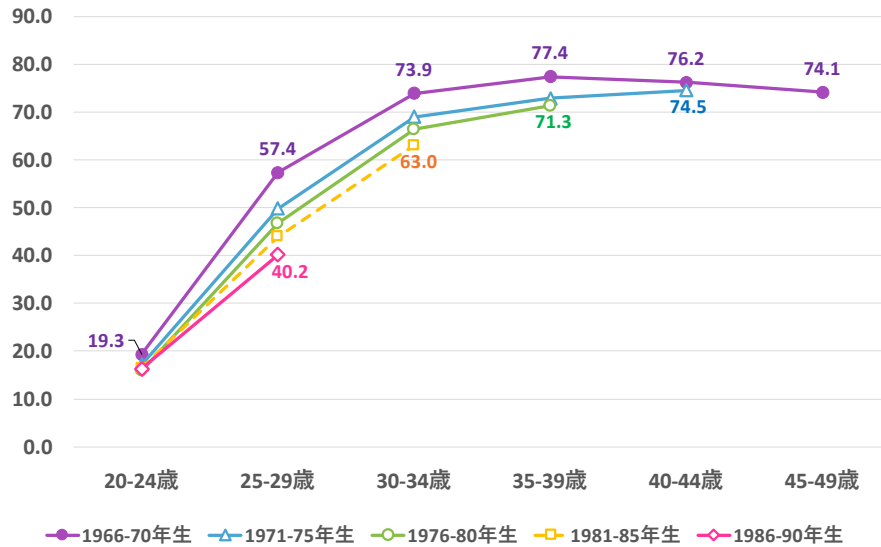


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 12-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.73 人に対して、1986-90 年生まれは 0.56 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.90 人に対して、1976-80 年生まれは 0.97 人とわずかに上昇している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれていない状況が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1981-85 年生まれでほぼ 1 人 (0.99 人) を維持しているが、1986-90 年生まれの 25-29 歳での出生数はこれまでよりも少ない 0.40 人に減少した。

③コホート別既婚率

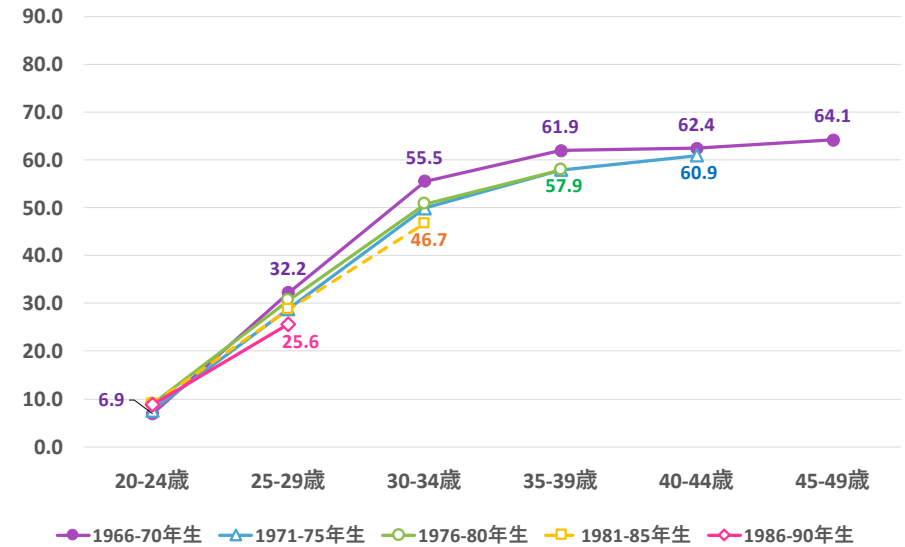
図 12-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 12-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 57.4%から 1986-90 年生まれは 40.2%へと 17.2 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 77.4%から 1976-80 年生まれは 71.3%へと 6.1 ポイント低下している。

図 12-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

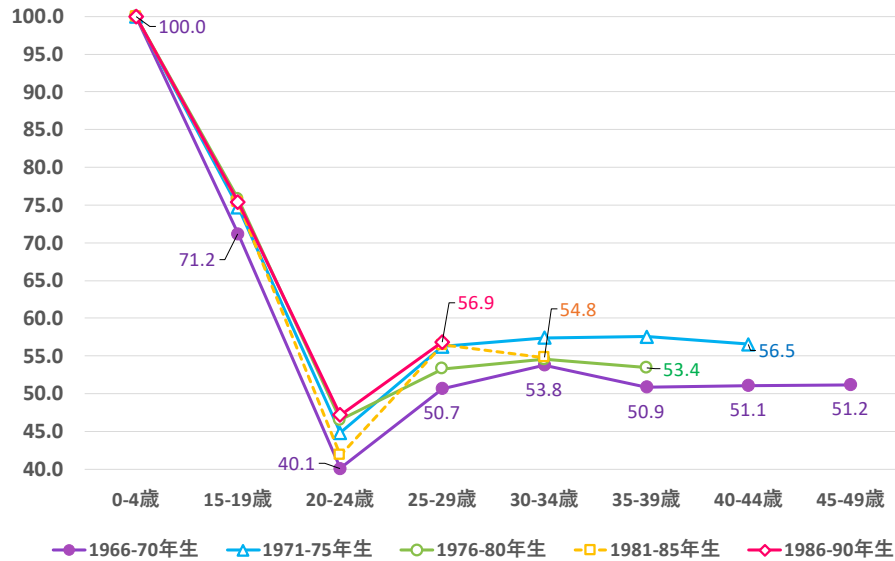


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 12-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 32.2%から 1986-90 年生まれは 25.6%へと 6.6 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 61.9%から 1976-80 年生まれは 57.9%に 4.0 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台半ばに達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 12-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

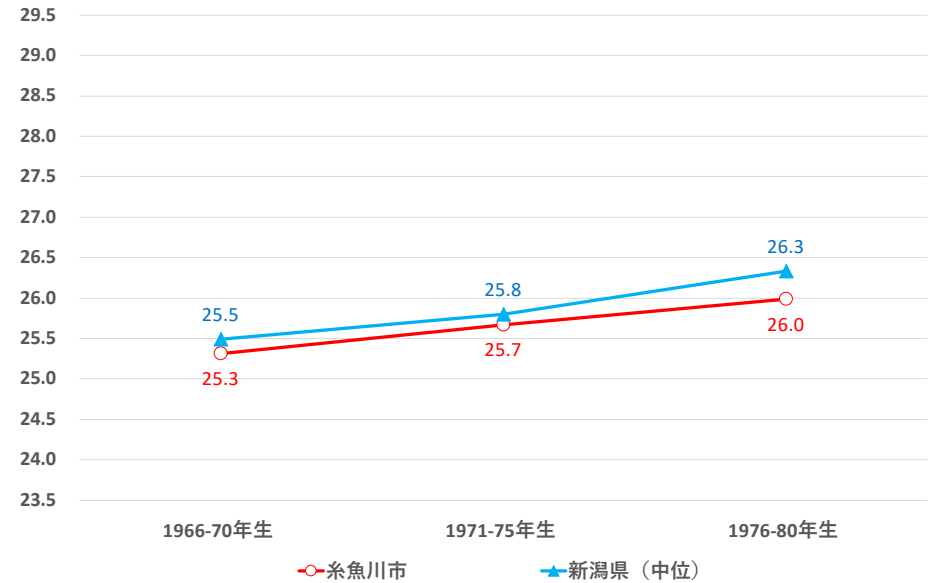


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 12-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの50.7から1986-90年生まれは56.9に6.2ポイント上昇しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの50.9から1976-80年生まれは53.4に2.5ポイント上昇している。
- ・ 糸魚川市では、25-29歳時でみると、1970年以降のコホートは1966-70年生まれコホートより上昇している。しかし、0-4歳時点の50%台前半から後半の水準に減少する状況が続いている。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 12-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

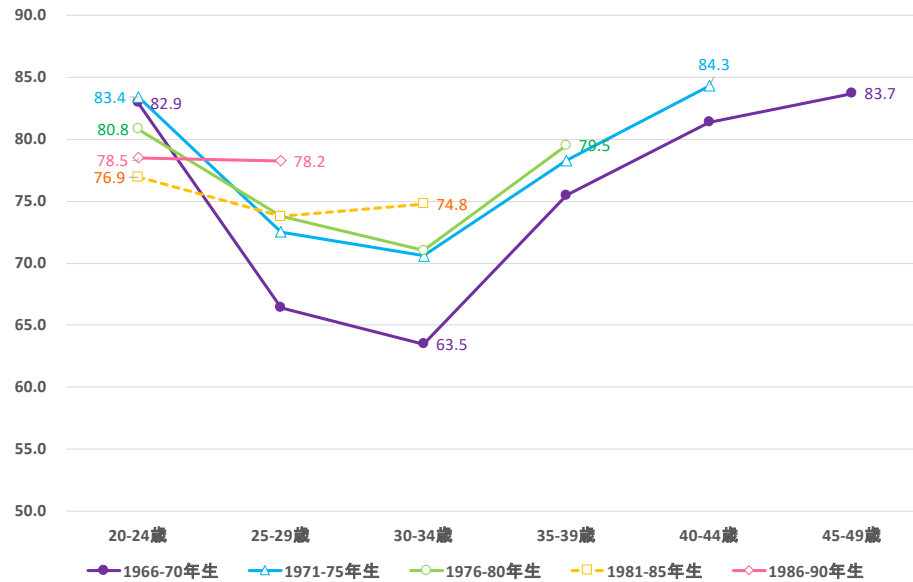


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 12-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.3歳、25.7歳、26.0歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.7歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は10位、1971-75年生の県内順位は10位、1976-80年生は9位と平均結婚年齢は県内平均(中位)よりやや早い自治体となっている。

⑥コホート別女性就業率

図 12-8 コホート別女性就業率 単位：％

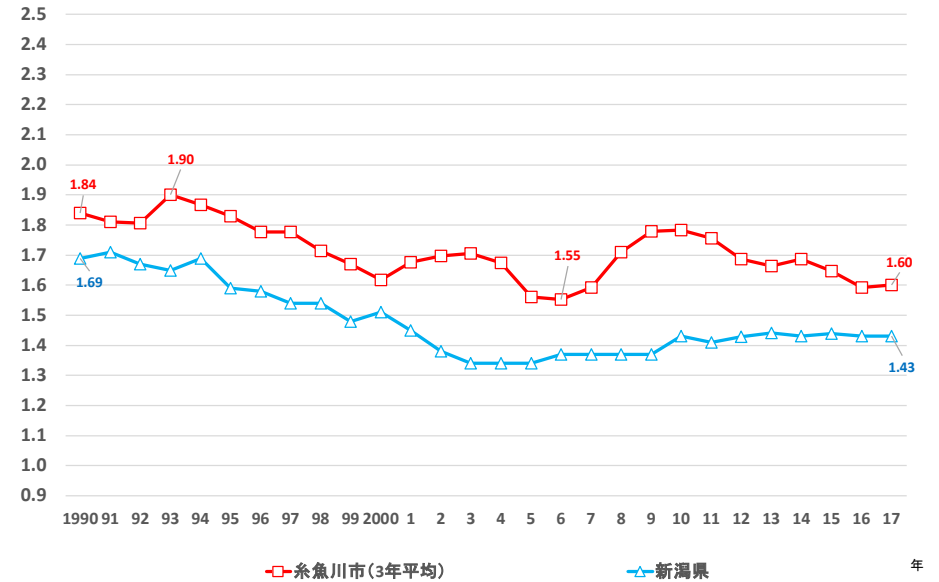


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 12-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1986-90 年生まれの除く全てのコホートで顕著に低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 63.5%であったのに対して、1981-85 年生まれは 74.8%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 12-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 12-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と糸魚川市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、糸魚川市の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均では 0.23 ポイント高い。
- ・ 糸魚川市の期間合計特殊出生率は、1993 年の 1.90 をピークに低下してきたが、2006 年の 1.55 を底に 2009-10 年には 1.78 まで改善したが、2017 年には 1.60 に低下している。